

機能的で居心地の良い場所へ

阿部研究室 5 階作業スペースのリノベーション

阿部研究室 (インテリア・プロダクト分野) A22AB083 恒川みゆ

Floor
5

1 背景

昨年、阿部研究室の先輩の卒業研究補助を通じ、生活科学部棟 5 階の作業スペースにおける**窮屈さ**と**不便さ**を感じた。
特に椅子背後の通路幅は、推奨されている 1 m を満たしておらず、通行時の接触や動作の制限が生じていた。

2 目的

本研究は、作業スペースをリノベーションし、**機能性**と**居心地の良さ**を向上させることを目的とする。
このリノベーションによって、作業効率の向上だけでなく、学生同士のコミュニケーションが促進され、創造性を発揮できる環境の実現を目指す。

3 方法

本研究は、以下のプロセスでリノベーションを進めた。

- ・ アンケート調査
- ・ ヒアリング調査
- ・ DIY リノベーション

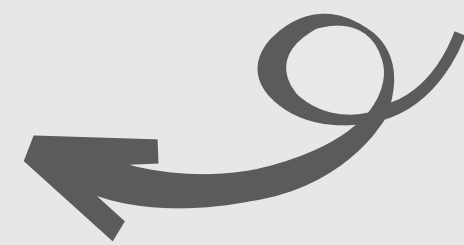
これらのプロセスを採用することによって、

- ・ 利用者の要望を反映した空間づくり
- ・ 利用者の作業スペースへの愛着心形成

を目指した。



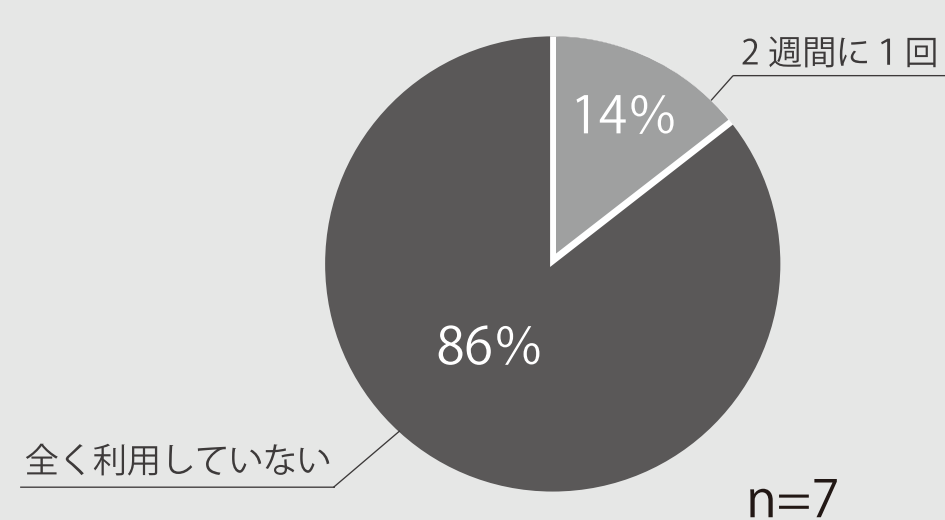
作業中の様子がギュギュッと詰まった
動画はこちらから！



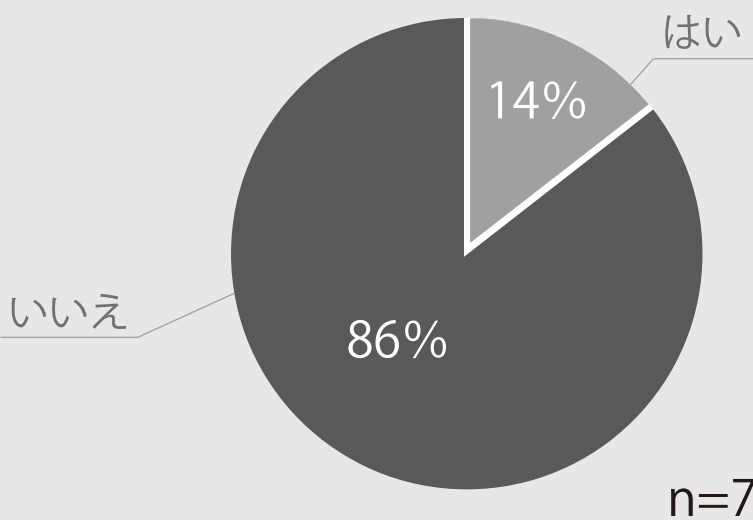
4 アンケート調査・ヒアリング調査

ゼミ生 10 名と阿部先生を対象に行ったアンケート調査では、
大部分の人が**「作業スペースを利用したことがなく、作業スペースに満足していない」**ということが明らかになった。

Q. 現在の作業スペースの利用頻度はどれくらいか。



Q. 現在の作業スペースに満足しているか。



また、プレゼミ生を対象に行ったアンケート調査では、
作業スペースの存在を知っている人は多くいる一方で、以下の
情報を知っている人は、ほとんどいないということが分かった。

- ・ 利用対象者
- ・ 阿部研究室専用スペースの位置
- ・ 各研究室に専用スペースがある
- ・ 利用可能時間
- ・ 飲食禁止などのルール

アンケート結果を受けて、本研究のリノベーションでは
3つの『**さ**』を重視して、計画した。

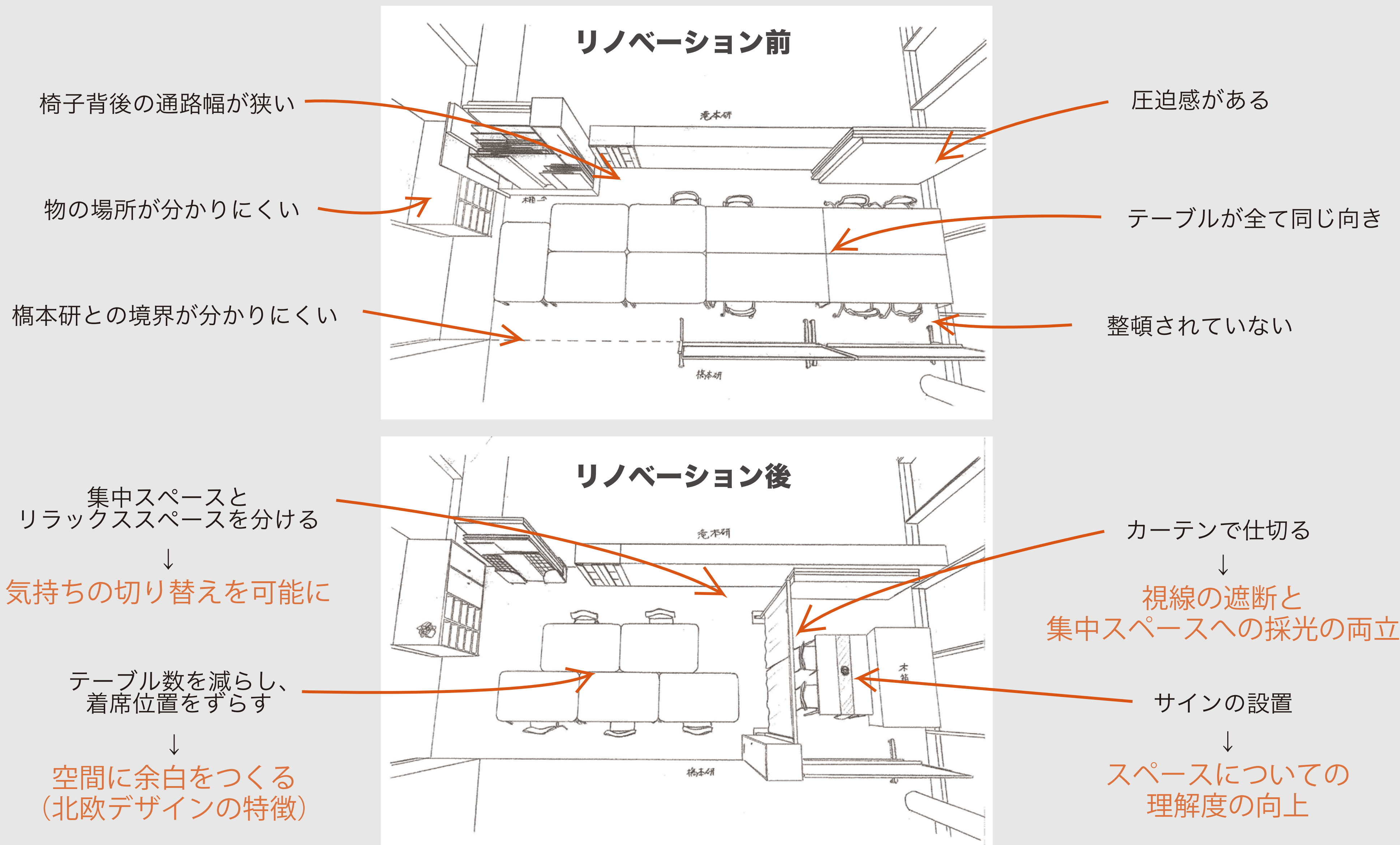
- ・ 居心地の良さ
- ・ 使いやすさ
- ・ 分かりやすさ

ヒアリング調査により、以下の点から作業スペースの
デザインコンセプトを**北欧ナチュラル**に決定した。

- ・ 生活科学部棟全体の雰囲気と調和する
- ・ 万人受けするデザインである



5 設計



6 リノベーション前後の比較



謝辞

本研究を進めるにあたり、多くの方々から多大なご支援とご協力を賜りました。
 株式会社文創 戦略企画本部 吉留恒一様、ANYFROOM 織田佐代様には、リノベーションに不可欠な床材をご提供いただき、選定に際しても貴重なお時間を割いてご協力くださいましたこと、深く御礼申し上げます。いただいた床材により、理想とする空間の実現に大きく近づけることができました。
 また、作業中の騒音を快く容認してくださった滝本研究室ならびに橋本研究室の皆様に、深く感謝申し上げます。

